

【2017年度 TQM 奨励賞受賞】

—TQM 奨励賞の受賞により、社員の意識が大きく変わりました—

株式会社丸開鉄工 代表取締役社長 丸開悟氏

TQM 奨励賞へのチャレンジは私自身の卒業試験という意味合いもありました。現会長からの事業継承にあたり、私が中心となり社員をまとめ、全員で取り組むということでの挑戦でした。そのことと合わせて、経営理念である「基本は個人の創造力」株式会社丸開鉄工は、少数精鋭で、創造性、独創性を発揮し、ものづくりにより、人類、社会の進歩発展に貢献します。」に近づいていくために、取引先の考え方である、S（安全）L（法令順守）Q（品質）D（納期）C（コスト）の優先順位に M（モラル）・E（環境）をプラスした考えで、ものづくりを行ってきました。その一つの手段としてエコステージの活動を行ってきましたが、さらなるレベルアップのために TQM の考え方を採り入れ、向上させていきたい。また、社内のベクトルを合わせるためにも TQM 奨励賞への挑戦という高い目標が必要だったと考えております。それと、これまでの活動は自己流で進めてきたこともあって、この活動の是非を問いたいという思いもありました。

当社は少人数（13名）の会社です。大企業では専門の部門等があるのかと思いますが、当社では実情説明書の作成や準備等は、本業である現場作業や事務作業をしながらの作業となり、全員で分担して取り組む必要性がありました。初めのうちは、全社員のベクトルが合っていない時期もあり、ベクトルを合わせる、社員一丸となって取り組むという点に苦労しました。しかし、この活動を通じてベクトルが合っていなかった社員にも、自分の思いや活動の意義を繰り返し伝え、理解してもらい、最終的には全員が同じ方向を向くことができるようになり、TQM 奨励賞受賞時には全員で喜びを分かち合うことができました。



TQM 奨励賞の審査では、これまでにはなかった知識、考え方でご指摘いただいた点も多く、今の活動に大きく影響しています。

審査委員の皆様は、当社のレベルにあった、現場の実情を理解した上で審査を行っていただき、その点が非常によかったと思っています。丸開鉄工に合った審査だったと感じています。

そして、TQM 奨励賞を受賞したことで、人材確保という面で、TQM 奨励賞を受賞したことを理由に応募してくださった方もいますし、取引において優位になった部分もあります。そういった有形の部分もありますが、一番は社員の意識が変わってきたことが大きいと思っています。受賞により、組合内での当社を見る目も変わり、社員に TQM 奨励賞に恥じない行動をしなければならないという意識が芽生えてきたと感じています。

今後、この活動をさらにレベルアップしていく必要があると考えています。どうしても少人数なので個人で取り組む活動が多くなってしまいましたが、個人の創造力には限界があります。TQM 活動も含めた全ての業務を、少数精鋭の社員が持つ個人の創造力プラス、和（全員での）の創造力に変化させ、少数精鋭で創造性、独創性を持ったものづくりによる社会貢献を実現させていきたいと考えております。

